

目標達成計画

作成日 平成 23 年 2 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	付近の民家と距離がある。日頃、関係づくりに努め、災害時における協力を呼びかけるなど、地域との協力体制の構築に取り組む。	地域連携による具体的な安全体制をつくりあげる。	隣接の老健職員の応援体制による訓練の実施。公設消防団との連携について検討。近隣に作業をしに来る方や、土地所有者等を把握し、災害時等の協力について話し合ってみる。	12 ヶ月
2	33	重度化した場合の方針を明確にするとともに、最適な治療を受けられるよう、利用者、及び家族の意向を踏まえながら、引き続き法人や協力医療機関と検討必要。	運営母体、職員と看取りケアの方針について再協議を持ち、明確にする。	運営母体との協議では、方向性の確立があったが、再度協議の機会を設ける。職員間で看取りに対する認識の話し合いや、ケースに応じた内容検討をしてみる。看取りに対する家族の意見を聞く。	12 ヶ月
3	26	介護計画に関する説明や話し合いが少ない。	本人、家族から具体的な意見、要望を伝えてもらえるようにする。	担当者会議開催の日程調整を本人、家族と行い、できるだけ一緒に出来る機会をつくる。介護計画の目的の認識や、本人、家族が興味を持っていただけの様取り組む。	12 ヶ月
4	23	利用者の要望や願いの把握について十分でないとの捉えあり。	一人ひとりの思いや、希望、意向の把握に努める。本人本位の考え方を持つ。	ケア理念の確認を行う。利用者間の会話やふれあいの中から声を拾う。耳を傾ける。速やかな対応を行う。家族の思っていること、本人の思っていることを話し合う。	12 ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。